

授業科目名	公的扶助論	担当教員名	長谷川 恵一郎
必修/選択	選択 (/社会福祉主事任用資格)	開講学年・学期	2年 前期 (年間開講数 1講座)
科目区分	その他の資格取得科目	単位数	2単位
施行規則に定める科目区分等		授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	公的扶助の社会的意義の重要性を、制度のしくみの理解とともに会得する。 (1)現代社会における公的扶助の理念と意義について理解する。 (2)生活保護制度及び関連制度のしくみと近年の動向について理解する。 (3)生活保護及び関連分野の組織・専門職とその連携のあり方について理解する。		
授業の概要	生活保護関連分野の実務経験を生かして、公的扶助の歴史的経過と、わが国における生活保護制度の考え方について、単元ごとに考察する。		
テキスト	「新版公的扶助論」川上昌子著 (光生館)		
参考書・参考資料等	「社会福祉小六法」		
成績評価の方法	○定期試験：60% ○課題レポート：25% ○参加意欲及び学習態度：15%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	プロローグ (全体の授業の流れ)		
第2回	公的扶助の位置づけ	(1)	
第3回	欧米を中心とした公的扶助の沿革	(2)	
第4回	わが国における公的扶助の沿革	(2)	
第5回	保護の実施体制	(2),(3)	
第6回	生活保護の関連分野	(2),(3)	
第7回	生活保護制度の目的等	(2)	
第8回	生活保護制度の基本原則	(2)	
第9回	生活保護の原則	(2)	
第10回	保護受給者の権利と義務	(2)	
第11回	不服申し立てと審査請求	(2)	
第12回	最低生活費の算定方法の推移		
第13回	生活保護の種類と内容	(2)	
第14回	生活保護の決定と実際 生活保護施設	(2)	
第15回	低所得者対策の概要	(2)	
定期試験	筆記試験、レポート提出		